

令和3年度用
技術・家庭 家庭分野 —生活の土台 自立と共生—

中・小連携の具体例

令和3年度用
内容解説
資料



小学校との
関連を
紙面で
紹介します

- 中学校技術・家庭「家庭分野」と小学校家庭の学習指導系統一覧……………2
- 中学校技術・家庭「家庭分野」と小学校家庭の「調理実習」例……………6
- 中学校技術・家庭「家庭分野」と小学校家庭の「生活を豊かにする物の製作」製作例…8
- 中学校技術・家庭「家庭分野」と小学校家庭の「実験・観察」例……………10
- 中学校技術・家庭「家庭分野」と小学校家庭の「アクティブ・ラーニング」例……………12
- 中学校技術・家庭「家庭分野」における「小学校での学び」の確認例……………14

開隆堂

この資料は、一般社団法人教科書協会「教科書発行者行動規範」に則って作成、配布しております。

新教科書と他教科および技術分野との関連

家庭分野は他教科や技術分野の内容と関連させながら実践的・体験的に学習し、生活にいかす教科です。

ページ	教科書内容	他教科・技術分野との関連
20-21	③家庭を支える社会	総合的な学習の時間「生活や社会との関わり」
22-25	④中学生にとっての家族	保健体育／保健分野「思春期の自己形成」 道徳「家族の一員」
28-29	②幼児の体の発達	保健体育／保健分野「発育・発達の個人差」
42-43	①ふれ合い体験の前に	特別活動「さまざまな人との交流」
54-55	子どもの健やかな成長のために	社会／公民的分野「個人の尊厳、平等、責任」 道徳「生命の尊重」
56-57	①家庭生活と地域での活動	特別活動「家庭や地域との連携」 総合的な学習の時間「社会体験・体験活動」
58-59	②多様な人びとが暮らす地域	社会／公民的分野「個人の尊厳、平等、責任」
64-65	持続可能な家庭生活をめざして	社会／公民的分野「個人の尊厳、平等、責任」
72-73	①食事の役割	特別活動「食事を通じた人間関係」
74-77	②健康によい食習慣	保健体育／保健分野「生活習慣病」 特別活動「望ましい食習慣」 保健体育／保健分野「運動、食事、休養、睡眠の調和」
78-79	体に入った栄養素のゆくえ	理科／第2分野「消化吸収」
80-81	①中学生の発達と必要な栄養	保健体育／保健分野「発達・発育の個人差」
82-87	②栄養素のはたらきと6つの基礎食品群	理科／第2分野「細胞からできている生物」 保健体育／保健分野「健康の保持・増進」 理科／第1分野「観察・実験」
96-97	食品が食卓にのぼるまで	社会／公民的分野「市場における価格の決め方」 社会／地理的分野「日本と世界の結びつき」
98-99	①生鮮食品の選択と保存	社会／地理的分野「日本の気候の特色」 技術分野「生物育成」
100-103	②加工食品の選択	社会／地理的分野「生活に根ざした伝統」 理科／第2分野「科学技術の利用」
104-105	③食品の安全と情報	技術分野「技術と生活、社会とのかかわり」 「食料の安全性」
106-107	①調理の計画	総合的な学習の時間「ものづくり」 技術分野「実践的・体験的な活動」
108-113	②おいしさ調理	社会／地理的分野「人びとの生活・文化」 保健体育／保健分野「感染経路の遮断」
114-115	③ますます好きになる肉の調理	保健体育／保健分野「健康・安全」
122-123	④こんなにおいしい魚の調理	保健体育／保健分野「健康・安全」 社会／地理的分野「日本の国土・地形」
130-131	⑤好きになる野菜の調理	理科／第1分野「観察・実験」 社会／地理的分野「日本の国土・地形」
137	あと1品つくってみよう	理科／第1分野「生活を便利にする科学技術」

ページ	教科書内容	他教科・技術分野との関連
140-145	地域の食文化	社会／地理的分野「世界の衣食住」 「生活と文化、地域の伝統」 「生活と文化」 技術分野「実践的・体験的な活動」
146-147	1日分の献立	保健体育／保健分野「健康の保持・増進」 技術分野「実践的・体験的な活動」
152-153	持続可能な食生活をめざして	社会／地理的分野「世界と日本の結びつき」 理科／第2分野「自然環境の保全」
166-167	③つなげよう和服の文化	社会／地理的分野「世界の衣食住の特色」
176-177	②布の繊維に応じた手入れ	社会／地理的分野「世界の衣食住の特色」
196-201	製作の基礎・基本	技術分野「材料と加工」 道徳「伝統と文化の創造」
208-209	①住まいのはたらき	理科／第1分野「自然環境の保全と科学技術の利用」 社会／地理的分野「人びとの生活・文化」
210-213	②住まいの空間	社会／地理的分野「人びとの生活・文化」 社会／歴史的分野「文化と伝統の特色」
214-215	①家庭内事故への備え	保健体育／保健分野「健康と環境」
218-219	②災害への備え	社会／地理的分野「自然災害と防災への取り組み」
222-223	持続可能な住生活をめざして	技術分野「資源・エネルギー」 社会／地理的分野「日本の資源とエネルギー」
230-231	①消費生活のしくみ	社会／公民的分野「身近な消費生活と経済活動」
232-233	②家庭生活における収入と支出	社会／公民的分野「身近な消費生活と経済活動」
234-235	①いろいろな購入方法	社会／公民的分野「身近な消費生活と経済活動」
236-237	②購入前に知っておくこと一売買契約一	社会／公民的分野「契約の重要性、個人の責任」
238-239	③いろいろな支払い方法	社会／公民的分野「身近な消費生活と経済活動」
240-241	④情報を活用した上手な購入	技術分野「情報」
246-249	①なくなる消費者被害	社会／公民的分野「身近な消費生活と経済活動」
250-251	②消費者を支えるもの	社会／公民的分野「身近な消費生活と経済活動」
252-253	③消費者の権利と責任	社会／公民的分野「身近な消費生活と経済活動」
256-257	①消費行動が社会に与える影響	社会／公民的分野「身近な消費生活と経済活動」 「持続可能な社会」
258-259	②消費行動が環境に与える影響	社会／公民的分野「持続可能な社会」 技術分野「エネルギー変換」

令和3教 内容解説資料 BJ 非売品



開隆堂出版株式会社

本社／〒113-8608 東京都文京区向丘1-13-1
☎ 03-5684-6111 (代表)

北海道支社／〒060-0061 札幌市中央区南一条西6-11 札幌北辰ビル8F ☎ 011-231-0403
東北支社／〒983-0852 仙台市宮城野区榴岡4-3-10 仙台TBビル4F ☎ 022-742-1213
名古屋支社／〒464-0802 名古屋市千種区星が丘元町14-4 星ヶ丘プラザビル6F ☎ 052-789-1741
大阪支社／〒550-0013 大阪市西区新町2-10-16 ☎ 06-6531-5782
九州支社／〒810-0075 福岡市中央区港2-1-5 FYCビル3F ☎ 092-733-0174

■ 中学校技術・家庭「家庭分野」と小学校家庭の学習指導系統一覽

中学校技術・家庭「家庭分野」	小学校家庭	内容の取扱い等
<p>●学習指導要領の目標 家庭分野の目標 生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、衣食住などに関する実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 家族・家庭の機能について理解を深め、家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて、生活の自立に必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。 (2) 家族・家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなど、これからの生活を展望して課題を解決する力を養う。 (3) 自分と家族、家庭生活と地域との関わりを考え、家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。</p>	<p>●学習指導要領の目標 教科の目標 生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、衣食住などに関する実践的・体験的な活動を通して、生活をよりよくしようと工夫する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 家族や家庭、衣食住、消費や環境などについて、日常生活に必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。 (2) 日常生活の中から問題を見いだして課題を設定し、様々な解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなど、課題を解決する力を養う。 (3) 家庭生活を大切にすることを育み、家族や地域の人々との関わりを考え、家族の一員として、生活をよりよくしようと工夫する実践的な態度を養う。</p>	<p>中 小学校の学習を踏まえ、中学校で指導する「知識及び技能」が、高等学校の学習に発展していくものとして意識し、確実に定着できるようにすることを目指している。</p> <p>小 小学校で指導する「知識及び技能」が、中学校及び高等学校の学習に発展していくものとして意識し、確実に定着できるようにすることを目指している。</p>
<p>●学習内容 A 家族・家庭生活</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>(1) 自分の成長と家族・家庭生活 ア 自分の成長と家族や家庭生活との関わりが分かり、家族・家庭の基本的な機能について理解するとともに、家族や地域の人々と協力・協働して家庭生活を営む必要があることに気付くこと。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>(2) 幼児の生活と家族 ア 次のような知識を身に付けること。 ア 幼児の発達と生活の特徴が分かり、子供が育つ環境としての家族の役割について理解すること。 イ 幼児にとっての遊びの意義や幼児との関わり方について理解すること。 イ 幼児とのよりよい関わり方について考え、工夫すること。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>(3) 家族・家庭や地域との関わり ア 次のような知識を身に付けること。 ア 家族の互いの立場や役割が分かり、協力することによって家族関係をよりよくできることについて理解すること。 イ 家庭生活は地域との相互の関わりで成り立っていることが分かり、高齢者など地域の人々と協働する必要があることや介護など高齢者との関わり方について理解すること。 イ 家族関係をよりよくする方法及び高齢者など地域の人々と関わり、協働する方法について考え、工夫すること。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>(4) 家族・家庭生活についての課題と実践 ア 家族、幼児の生活又は地域の生活の中から問題を見いだして課題を設定し、その解決に向けてよりよい生活を考え、計画を立てて実践できること。</p> </div>	<p>●学習内容 A 家族・家庭生活</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>(1) 自分の成長と家族・家庭生活 ア 自分の成長を自覚し、家庭生活と家族の大切さや家庭生活が家族の協力によって営まれていることに気付くこと。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>(2) 家庭生活と仕事 ア 家庭には、家庭生活を支える仕事があり、互いに協力し分担する必要があることや生活時間の有効な使い方について理解すること。 イ 家庭の仕事の計画を考え、工夫すること。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>(3) 家族や地域の人々との関わり ア 次のような知識を身に付けること。 ア 家族との触れ合いや団らんの大切さについて理解すること。 イ 家庭生活は地域の人々との関わりで成り立っていることが分かり、地域の人々との協力が大切であることを理解すること。 イ 家族や地域の人々とのよりよい関わりについて考え、工夫すること。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>(4) 家族・家庭生活についての課題と実践 ア 日常生活の中から問題を見いだして課題を設定し、よりよい生活を考え、計画を立てて実践できること。</p> </div>	<p>中 A (1) ガイダンスとしては、第1学年の最初に履修させ、これまでの家庭生活や小学校家庭科の学習を振り返ったり、家庭分野の学習のねらいや概要に触れたりして中学校3学年間の学習の見通しをもたせるようにする。</p> <p>小 A (1) ア 第4学年までの学習を踏まえ、2学年間の学習の見通しをもたせるためのガイダンスとして、第5学年の最初に履修させる。</p> <p>中 A (1)～(3) 小学校家庭科で学習した「A 家族・家庭生活」の(1)「自分の成長と家族・家庭生活」、(2)「家庭生活と仕事」、(3)「家族や地域の人々との関わり」に関する基礎的・基本的な知識及び技能などを基盤にして、適切な題材を設定し、相互に関連を図り、総合的に展開できるよう配慮する。</p> <p>小 A (3) 幼児又は低学年の児童や高齢者など異なる世代の人々との関わりについても扱うこととし、中学校における幼児・高齢者に関する学習につなげるようにしている。</p>

中学校技術・家庭「家庭分野」

●学習内容

B 衣食住の生活

(1) 食事の役割と中学生の栄養の特徴

- ア 次のような知識を身に付けること。
- ㊦ 生活の中で食事が果たす役割について理解すること。
 - ㊧ 中学生に必要な栄養の特徴が分かり、健康によい食習慣について理解すること。
 - イ 健康によい食習慣について考え、工夫すること。

(2) 中学生に必要な栄養を満たす食事

- ア 次のような知識を身に付けること。
- ㊦ 栄養素の種類と働きが分かり、食品の栄養的な特質について理解すること。
 - ㊧ 中学生の1日に必要な食品の種類と概量が分かり、1日分の献立作成の方法について理解すること。
 - イ 中学生の1日分の献立について考え、工夫すること。

(3) 日常食の調理と地域の食文化

- ア 次のような知識及び技能を身に付けること。
- ㊦ 日常生活と関連付け、用途に応じた食品の選択について理解し、適切にできること。
 - ㊧ 食品や調理用具等の安全と衛生に留意した管理について理解し、適切にできること。
 - ㊨ 材料に適した加熱調理の仕方について理解し、基礎的な日常食の調理が適切にできること。
 - ㊩ 地域の食文化について理解し、地域の食材を用いた和食の調理が適切にできること。
 - イ 日常の1食分の調理について、食品の選択や調理の仕方、調理計画を考え、工夫すること。

小学校家庭

●学習内容

B 衣食住の生活

(1) 食事の役割

- ア 食事の役割が分かり、日常の食事の大切さと食事の仕方について理解すること。
- イ 楽しく食べるために日常の食事の仕方を考え、工夫すること。

(2) 調理の基礎

- ア 次のような知識及び技能を身に付けること。
- ㊦ 調理に必要な材料の分量や手順が分かり、調理計画について理解すること。
 - ㊧ 調理に必要な用具や食器の安全で衛生的な取扱い及び加熱用調理器具の安全な取扱いについて理解し、適切に使用できること。
 - ㊨ 材料に応じた洗い方、調理に適した切り方、味の付け方、盛り付け、配膳及び後片付けを理解し、適切にできること。
 - ㊩ 材料に適したゆで方、いため方を理解し、適切にできること。
 - ㊪ 伝統的な日常食である米飯及びみそ汁の調理の仕方を理解し、適切にできること。
 - イ おいしく食べるために調理計画を考え、調理の仕方を工夫すること。

(3) 栄養を考えた食事

- ア 次のような知識を身に付けること。
- ㊦ 体に必要な栄養素の種類と主な働きについて理解すること。
 - ㊧ 食品の栄養的な特徴が分かり、料理や食品を組み合わせるとる必要があることを理解すること。
 - ㊨ 献立を構成する要素が分かり、1食分の献立作成の方法について理解すること。
 - イ 1食分の献立について栄養のバランスを考え、工夫すること。

内容の取扱い等

中 B(1)ア

生活の中で食事が果たす役割については、小学校における健康の保持増進、成長などの食事の役割の学習を踏まえ、食事を共にすることが人間関係を深めたり、偏食を改善し、栄養のバランスのよい食事にもつながったりすること、行事食や郷土料理など、食事が文化を伝える役割もあることを理解できるようにする。食事を共にするためには、小学校で学習した楽しく食べるための工夫が必要であることに気付くようにする。

中 B(2)ア

小学校における五大栄養素の基礎的事項を踏まえ、いろいろな栄養素が相互に関連し合い健康の保持増進や成長のために役立っていることを理解するとともに、食品には複数の栄養素が様々な割合で含まれており、その栄養的な特質によって食品群に分類されることを理解できるようにする。

小 B(2)ア

生の魚や肉を扱った調理は、中学校において行う。

中 B(3)ア

・小学校での学習を踏まえ、1食分の献立を手順を考えながら調理することができるよう配慮するとともに、安全と衛生に留意して食品や調理用具等の適切な管理ができるようにする。

・小学校で学習したゆでる、いためる調理に加え、煮る、焼く、蒸す等を扱うこととする。

小 B(3)ア

五大栄養素と食品の体内での主な働きを中心に扱い、中学校での日本食品標準成分表や食事摂取基準、食品群別摂取量の目安などの学習につなげるよう配慮する。

中学校技術・家庭「家庭分野」

●学習内容

B 衣食住の生活

(4) 衣服の選択と手入れ

- ア 次のような知識及び技能を身に付けること。
- (ア) 衣服と社会生活との関わりが分かり、目的に応じた着用、個性を生かす着用及び衣服の適切な選択について理解すること。
- (イ) 衣服の計画的な活用の必要性、衣服の材料や状態に応じた日常着の手入れについて理解し、適切にできること。
- イ 衣服の選択、材料や状態に応じた日常着の手入れの仕方を考え、工夫すること。

(5) 生活を豊かにするための布を用いた製作

- ア 製作する物に適した材料や縫い方について理解し、用具を安全に取り扱い、製作が適切にできること。
- イ 資源や環境に配慮し、生活を豊かにするために布を用いた物の製作計画を考え、製作を工夫すること。

(6) 住居の機能と安全な住まい方

- ア 次のような知識を身に付けること。
- (ア) 家族の生活と住空間との関わりが分かり、住居の基本的な機能について理解すること。
- (イ) 家庭内の事故の防ぎ方など家族の安全を考えた住空間の整え方について理解すること。
- イ 家族の安全を考えた住空間の整え方について考え、工夫すること。

(7) 衣食住の生活についての課題と実践

- ア 食生活、衣生活、住生活の中から問題を見いだして課題を設定し、その解決に向けてよりよい生活を考え、計画を立てて実践できること。

小学校家庭

●学習内容

B 衣食住の生活

(4) 衣服の着用と手入れ

- ア 次のような知識及び技能を身に付けること。
- (ア) 衣服の主な働きが分かり、季節や状況に応じた日常着の快適な着方について理解すること。
- (イ) 日常着の手入れが必要であることや、ボタンの付け方及び洗濯の仕方を理解し、適切にできること。
- イ 日常着の快適な着方や手入れの仕方を考え、工夫すること。

(5) 生活を豊かにするための布を用いた製作

- ア 次のような知識及び技能を身に付けること。
- (ア) 製作に必要な材料や手順が分かり、製作計画について理解すること。
- (イ) 手縫いやミシン縫いによる目的に応じた縫い方及び用具の安全な取扱いについて理解し、適切にできること。
- イ 生活を豊かにするために布を用いた物の製作計画を考え、製作を工夫すること。

(6) 快適な住まい方

- ア 次のような知識及び技能を身に付けること。
- (ア) 住まいの主な働きが分かり、季節の変化に合わせた生活の大切さや住まい方について理解すること。
- (イ) 住まいの整理・整頓や清掃の仕方を理解し、適切にできること。
- イ 季節の変化に合わせた住まい方、整理・整頓や清掃の仕方を考え、適切な住まい方を工夫すること。

内容の取扱い等

中 B (4) ア

- ・小学校で学習した保健衛生上の働きと生活活動上の働きを踏まえて、中学校では、所属や職業を表したり、行事などによって衣服や着方にきまりがあったりするなど、社会生活を営む上での機能を中心に理解できるようにする。
- ・小学校で学習した手洗いによる洗濯を基礎として、電気洗濯機を用いた洗濯の方法と特徴を理解し、洗濯機を適切に使用できるようにする。
- ・小学校での学習を踏まえて、身近な環境に配慮した水や洗剤の適切な使い方を調べるなど、持続可能な社会の構築についての理解が深まるよう配慮する。

小 B (4) ア

- ・洗剤については、働きなどは中学校で扱う。

中 B (5) ア

- ・ミシンについては、小学校での学習を踏まえて、使用前の点検、使用後の手入れとしまい方、簡単な調整方法について理解し、適切にできるようにする。

中 B (6) ア

- ・「住居の基本的な機能」の一部や「音と生活との関わり」については、小学校で扱う。
- ・小学校における季節の変化に合わせた住まい方の学習を踏まえて、我が国の伝統的な住宅や住まい方に見られる様々な知恵に気づき、生活文化を継承する大切さに気付くようにする。
- ・小学校の学習における、雨や風、暑さ・寒さなどの過酷な自然から人々を守る生活の器としての働きに加え、中学校では主として心身の安らぎと健康を維持する働き、子どもが育つ基盤としての働きなどがあることを理解できるようにする。

小 B (6) ア

- ・適切な整理・整頓や清掃は、家庭内の事故を防ぐための安全な住まい方を考える上でも大切であることに気付かせるなど、中学校での学習につながるよう配慮する。

中学校技術・家庭「家庭分野」

小学校家庭

内容の取扱い等

●学習内容

C 消費生活・環境

(1) 金銭の管理と購入

- ア 次のような知識及び技能を身に付けること。
- ア 購入方法や支払い方法の特徴が分かり、計画的な金銭管理の必要性について理解すること。
- イ 売買契約の仕組み、消費者被害の背景とその対応について理解し、物資・サービスの選択に必要な情報の収集・整理が適切にできること。
- イ 物資・サービスの選択に必要な情報を活用して購入について考え、工夫すること。

(2) 消費者の権利と責任

- ア 消費者の基本的な権利と責任、自分や家族の消費生活が環境や社会に及ぼす影響について理解すること。
- イ 身近な消費生活について、自立した消費者としての責任ある消費行動を考え、工夫すること。

(3) 消費生活・環境についての課題と実践

- ア 自分や家族の消費生活の中から問題を見だし、課題を設定し、その解決に向けて環境に配慮した消費生活を考え、計画を立てて実践できること。

●学習内容

C 消費生活・環境

(1) 物や金銭の使い方と買物

- ア 次のような知識及び技能を身に付けること。
- ア 買物の仕組みや消費者の役割が分かり、物や金銭の大切さと計画的な使い方について理解すること。
- イ 身近な物の選び方、買い方を理解し、購入するために必要な情報の収集・整理が適切にできること。
- イ 購入に必要な情報を活用し、身近な物の選び方、買い方を考え、工夫すること。

(2) 環境に配慮した生活

- ア 自分の生活と身近な環境との関わりや環境に配慮した物の使い方などについて理解すること。
- イ 環境に配慮した生活について物の使い方などを考え、工夫すること。

中 C (1) ア

- ・キャッシュレス化の進行に伴い、小中・高等学校の内容の系統性を図り、中学校に金銭の管理に関する内容を新設している。
- ・小学校における現金による店舗販売に関する学習を踏まえ、中学生の身近な消費行動と関連を図って扱うよう配慮する。
- ・小学校における「買物の仕組み」の学習を踏まえ、契約が法律に則ったきまりであり、売買契約が成立するためには買主及び売主の合意が必要であることや、既に成立している契約には法律上の責任が伴うため、消費者の一方的な都合で取り消すことができないことを理解できるようにする。

小 C (1) ア

- 小学校では、「買物の仕組みや消費者の役割」を新設し、中学校における「売買契約の仕組み」や「消費者の基本的な権利と責任」、「消費者被害の背景とその対応」の基礎となる学習ができるようにしている。

【中学校】内容の取扱い

- (1) 各内容については、生活の科学的な理解を深めるための実践的・体験的な活動を充実すること。
- (2) 内容の「A家族・家庭生活」については、次のとおり取り扱うものとする。
- ア (1)のAについては、家族・家庭の基本的な機能がAからCまでの各内容に関わっていることや、家族・家庭における様々な問題について、協力・協働、健康・快適・安全、生活文化の継承、持続可能な社会の構築等を視点として考え、解決に向けて工夫することが大切であることに気付かせるようにすること。
- イ (1)、(2)及び(3)については、相互に関連を図り、実習や観察、ロールプレイングなどの学習活動を中心とするよう留意すること。
- ウ (2)については、幼稚園、保育所、認定こども園などの幼児の観察や幼児との触れ合いができるよう留意すること。アのウについては、幼児期における周囲との基本的な信頼関係や生活習慣の形成の重要性についても扱うこと。
- エ (3)のアのウについては、高齢者の身体の特徴についても触れること。また、高齢者の介護の基礎に関する体験的な活動ができるよう留意すること。イについては、地域の活動や行事などを取り上げたり、他教科等における学習との関連を図ったりするよう配慮すること。
- (3) 内容の「B衣食住の生活」については、次のとおり取り扱うものとする。
- ア 日本の伝統的な生活についても扱い、生活文化を継承する大切さに気付くことができるよう配慮すること。
- イ (1)のアのウについては、食事を共にする意義や食文化を継承することについても扱うこと。
- ウ (2)のアのウについては、水の働きや食物繊維についても触れること。
- エ (3)のアのウについては、主として調理実習で用いる生鮮食品と加工食品の表示を扱うこと。(ウ)については、煮る、焼く、蒸す等を扱うこと。また、魚、肉、野菜を中心として扱い、基礎的な題材を取り上げること。(エ)については、だしを用いた煮物又は汁物を取り上げること。また、地域の伝統的な行事食や郷土料理を扱うこともできること。
- オ 食に関する指導については、技術・家庭科の特質に応じて、食育の充実を目指すよう配慮すること。
- カ (4)のアのウについては、日本の伝統的な衣服である和服について触れること。また、和服の基本的な着装を扱うこともできること。さらに、既製服の表示と選択に当たっての留意事項を扱うこと。(イ)については、日常着の手入れは主として洗濯と補修を扱うこと。
- キ (5)のAについては、衣服等の再利用の方法についても触れること。
- ク (6)のAについては、簡単な図などによる住空間の構想を扱うこと。また、ア及びイについては、内容の「A家族・家庭生活」の(2)及び(3)との関連を図ること。さらに、アの(イ)及びイについては、自然災害に備えた住空間の整え方についても扱うこと。
- (4) 内容の「C消費生活・環境」については、次のとおり取り扱うものとする。
- ア (1)及び(2)については、内容の「A家族・家庭生活」又は「B衣食住の生活」の学習との関連を図り、実践的に学習できるようにすること。
- イ (1)については、中学生の身近な消費行動と関連を図った物資・サービスや消費者被害を扱うこと。アの(イ)については、クレジットなどの三者間契約についても扱うこと。

【小学校】内容の取扱い

- (1) 内容の「A家族・家庭生活」については、次のとおり取り扱うこと。
- ア (1)のAについては、AからCまでの各内容の学習と関連を図り、日常生活における様々な問題について、家族や地域の人々との協力、健康・快適・安全、持続可能な社会の構築等を視点として考え、解決に向けて工夫することが大切であることに気付かせるようにすること。
- イ (2)のイについては、内容の「B衣食住の生活」と関連を図り、衣食住に関わる仕事を具体的に実践できるように配慮すること。
- ウ (3)については、幼児又は低学年の児童や高齢者など異なる世代の人々との関わりについても扱うこと。また、イについては、他教科等における学習との関連を図るよう配慮すること。
- (2) 内容の「B衣食住の生活」については、次のとおり取り扱うこと。
- ア 日本の伝統的な生活についても扱い、生活文化に気付くことができるよう配慮すること。
- イ (2)のアの(エ)については、ゆでる材料として青葉やじゃがいもなどを扱うこと。(カ)については、和食の基本となるだしの役割についても触れること。
- ウ (3)のアのウについては、五大栄養素と食品の体内での主な働きを中心に扱うこと。(ウ)については、献立を構成する要素として主食、主菜、副菜について扱うこと。
- エ 食に関する指導については、家庭科の特質に応じて、食育の充実を目指すよう配慮すること。また、第4学年までの食に関する学習との関連を図ること。
- オ (5)については、日常生活で使用する物を入れる袋などの製作を扱うこと。
- カ (6)のアのウについては、主として暑さ・寒さ、通風・換気、採光、及び音を取り上げること。暑さ・寒さについては、(4)のアのウの日常着の快適な着方と関連を図ること。
- (3) 内容の「C消費生活・環境」については、次のとおり取り扱うこと。
- ア (1)については、内容の「A家族・家庭生活」の(3)、「B衣食住の生活」の(2)、(5)及び(6)で扱う用具や実習材料などの身近な物を取り上げること。
- イ (1)のアのウについては、売買契約の基礎について触れること。
- ウ (2)については、内容の「B衣食住の生活」との関連を図り、実践的に学習できるようにすること。

■中学校技術・家庭「家庭分野」と小学校家庭の「調理実習」例


テーマ 題材	肉の調理		魚の調理		野菜の調理	
		しょうが焼き	煮魚	ムニエル	青菜の卵とじ	
中学校技術・家庭「家庭分野」 実習例とおもなポイント	[約35分] ★しょうが汁に肉をつけるとやわらかくなり、生臭みもとれる。 ★肉は焼くと固くなり、肉汁が出て重量が減る。	[約35分] ★落としぶたをすると、少ない煮汁でも効率よく加熱や味付けができる。 ★しょうがやみそは、生臭さをおさえるはたらきをする。	[約20分] ★小麦粉は、加熱によって魚のうま味を包みこむ膜になり、香ばしさを増す。 ★はじめに強火で焼いて表面のたんぱく質を固め、うま味を逃がさないようにする。	[約30分] ★沸とうした湯に青菜を茎のほうから入れ、さっとゆでる。		
	煮こみハンバーグ	焼き魚	つみれ汁	蒸し野菜サラダ		
	[約50分] ★ひき肉に塩を加えてこねると粘りが出る。こねる回数が少ないと、ほろほろしてぐずれやすく、多過ぎると加熱後に固く縮む。 ★ひき肉の中に空気が入らないように、手に打ちつけるようにして空気をぬいて丸める。	[約30分] ★魚に塩をふってしばらくおくと、水分が出て生臭さがとれ、身がしまる。 ★盛りつけたときに表になる面から焼く。表面を強火で焼いてこげめをつけ、弱火でじっくりと火を通す。	[約35分] ★魚肉に塩を加えてよくこねると粘りが出る。 ★魚肉だんごは、熱湯に入れて外側を固め、ぐずれるのを防ぐ。	[約30分] ★ブロッコリーは途中で入れて、色よく仕上げる。		
	牛丼	シチュー	かば焼き	筑前煮		
	[約20分] ★たまねぎの煮くずれを防ぐため、繊維の方向にそってくし形切りにする。 ★牛肉がかたくなり過ぎないように火が通ったらすぐ火をとめる。	[約30分] ★肉のうま味や栄養分を逃がさないように、肉の表面を焼く。 ★小麦粉を加え煮込むと、汁にとろみがつく。	[約35分] ★かたくり粉で、魚のうま味と栄養分を閉じこめる。 ★かたくり粉の衣がついていると、たれがよくからみ、口あたりがなめらかになる。	[約35分] ★沸とうしたら火を弱めて、あくをすくいと、やわらかくなるまで煮る。		
				ミネストローネ		
			[約45分] ★材料をいためてから水を加えて煮込む。			

テーマ 題材	第5学年 「生活を見つめ、できることを増やしていこう」				
		クッキングはじめての一步 (ゆでる調理 / 5年生のスタート)			食べて元気に
小学校家庭 実習例と技能	ゆでいも	青菜のおひたし	ゆで野菜サラダ	ご飯	みそしる
	 ★ガスこんろの安全な使用 ★いもや野菜をゆでる ★あとかたづけ ★生ごみのあとしまつ		 参考 ゆで卵	 ★米の計量 ★水加減 ★米の吸水 ★火加減の調節 ★むらす	 ★だしをとる ★実を適切な大きさに切る ★実を入れる順序 ★みそを入れるタイミング

注記 開隆堂の教科書で取り上げた例。小学校の*印のフライパンを使った調理、**印のじゃがいも調理は、それぞれの中から一つを実習。中学校は肉・魚・野菜を中心に日常よく用いられる卵やいも類などを取り上げ、「1日分の献立と食品の選択」の学習との関連を図る。[]は調理時間を示す。

あと1品つくってみよう				だしを使った調理	小麦粉を使った郷土料理
青菜のごまあえ	ポテトサラダ	ジャーマンポテト	なめこのみそ汁	雑煮	手打ちうどん
					
				おやつ	
大豆とひじきの煮もの	かぼちゃの煮もの	かきたま汁	とん汁	カップケーキ	いももち
					
さつまいもとりんごの重ね煮	なすのみそいため	コーンスープ	わかめスープ	スイートポテト	牛乳かん
					
きのこのマリネ	切り干し大根	電子レンジを使って		米粉蒸しパン	プリン
		きんぴらごぼう	ピーマンのナムル		
				お弁当	
					

第6学年 「工夫して生活に生かそう」

おかず* (いためる調理)		いろいろなおかず** (6年生のまとめ)			
スクランブルエッグ	三色野菜いため	具だくさんオムレツ	ジャーマンポテト	その他の調理例	
				たっぷり野菜のポテトサラダ  (焼く調理) 目玉焼き 	
★油よごれの用具・食器のあとしまつ ★材料のいろいろな切り方 ★材料によるいため方のちがい		★じゃがいもの皮むき ★大きさをそろえてじゃがいもを切る ★味つけをする			

■技術・家庭「家庭分野」と小学校家庭の「生活を豊かにする物の製作」

中学校技術・家庭「家庭分野」	テーマ 題材	衣服の補修	生活を豊かにする物の製作		
	製作例とおもなポイント	スナップ・かぎホックつけ	非常持ち出し袋	道具入れ	
		 <p>●スナップ ●かぎホック</p> <p>凸型(上側) 上側 下側 凹型(下側)</p>			
		ほころび直し			ハーフパンツ
		 <p>ほころびたところ (裏) 2cmくらい重ねて縫う。</p> <p>★ミシンで、ほかのところと同じ位の針目で縫う。</p>	 <p>幼児用 (手ぬぐいを活用)</p>	 <p>リストバンド 変身ベルト</p>	
まつり縫い	 <p>★縫い糸が出ている位置から、5~6mm先の表布を針で1mmすくい、続けて縫いしろの折り山を裏から表に向けてさす。</p>				

小学校家庭	テーマ 題材	第5学年 「生活を見つめ、できることを増やしていこう」				
	製作例と技能	ソーイングはじめの一步 (5年生のスタート)			ミシンでソーイング	
		ネームプレート	カード入れ	ポケットティッシュカバー	ペットボトルキャップの針さし	ランチョンマット
		 <p>★針に糸を通す ★玉結び・玉どめ ★ぬい取り ★ボタンつけ ★針やはさみの安全な使用</p>	 <p>★ボタンつけ ★なみ縫い ★本返し縫い ★半返し縫い ★かがり縫い</p>	 <p>★まち針のとめ方 ★しるしつけ</p>	 <p>★しるしつけ ★なみ縫い ★玉どめ</p>	 <p>★ミシン縫いのしかた ★型紙づくり ★布の裁ち方 ★しるしつけ ★しつけのしかた</p>
		(Additional content for the 5th grade sewing section)				

製作例

注記 開隆堂の教科書で取り上げた例。

				生活の課題と実践			
ファイルカバー		ブックカバー		診察カード入れ		リフォームでウォールポケット	
[手ぬぐいを活用]							
リバーシブルバッグ		クッションカバー		参考			
[ジーンズを活用]				[シャツを活用]		<p>結んでみよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ●ちょう結び ●真結び  <p>指編みのアクリルたわし</p>  <p>★洗剤を使わなくても汚れを落とすことができる。</p>	

第6学年 「工夫して生活に生かそう」

生活を豊かにソーイング

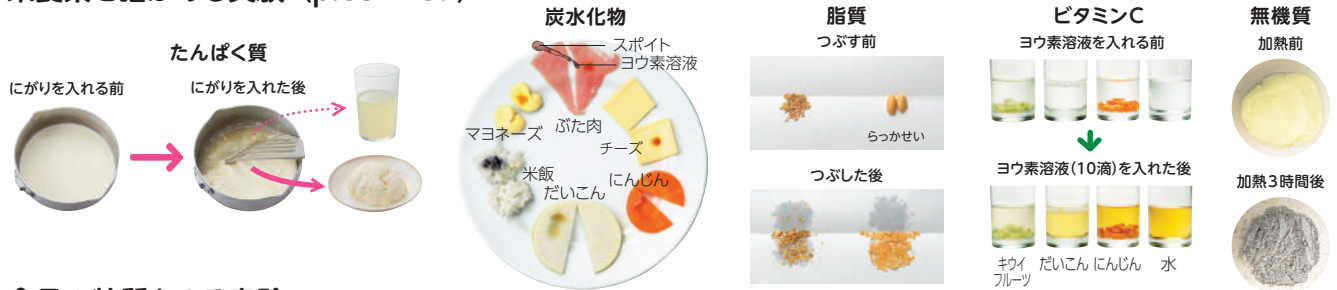
クッションカバー	マルチカバー	マイバッグ	きんちゃくポーチ	エプロン	その他
					
<ul style="list-style-type: none"> ★角の縫い方 ★返し口の縫い方 ★ミシンの安全な使用 ★アイロンの安全な使用 ★綿の入れ方 	<ul style="list-style-type: none"> ★まち針のとめ方 ★三つ折り縫い ★ミシンの直線縫い ★角の縫い方 	<ul style="list-style-type: none"> ★型紙と布の合わせ方 ★三つ折り縫い ★出し入れ口の縫い方 ★ひもの縫いつけ方 ★ミシンの安全な使用 	<ul style="list-style-type: none"> ★出し入れ口の縫い方 ★ミシンの直線縫い ★ミシンの安全な使用 ★アイロンの安全な使用 ★ひもの通し方 	<ul style="list-style-type: none"> ★ミシンの直線縫い ★ポケットのつけ方 ★ミシンの安全な使用 ★アイロンの安全な使用 ★ひもの通し方、つけ方 	<ul style="list-style-type: none"> 湯たんぽカバー フリル きんちゃく 水筒のカバー ハンカチを利用したふくろ

■ 中学校技術・家庭「家庭分野」と小学校家庭の「実験・観察」例

中学校技術・家庭「家庭分野」

食生活 実験・観察などの体験を通して、栄養素や食品の特質などの理解を深めます。

栄養素を確かめる実験 (p.85 ~ 87)



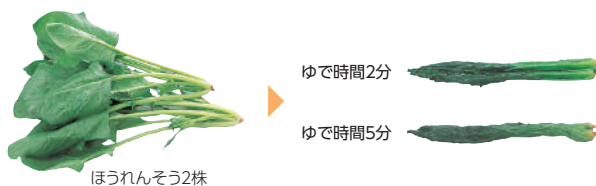
食品の特質をみる実験 肉の加熱による変化 (p.114)



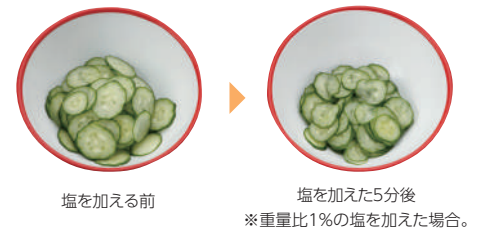
魚の加熱による変化 (p.122)



加熱による青菜のかさと色の変化 (p.131)



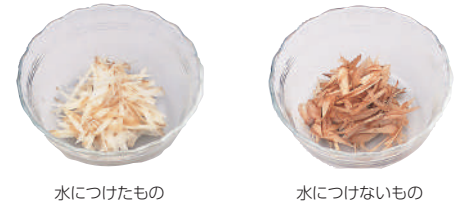
塩を加えたきゅうりのかさの変化 (p.131)



なすの色の変化



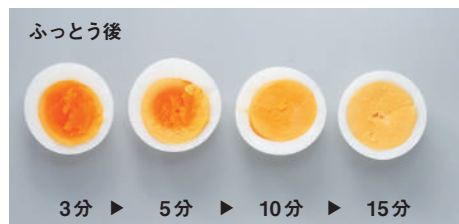
ごぼうの色の変化



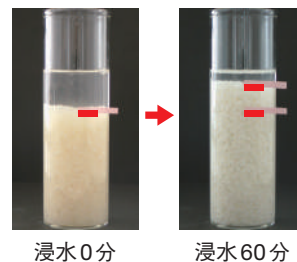
食生活 日常食である米飯の調理や、「ゆでる、いためる」調理などの実験的・体験的な学習を通して、中学校につなげます。

小学校家庭

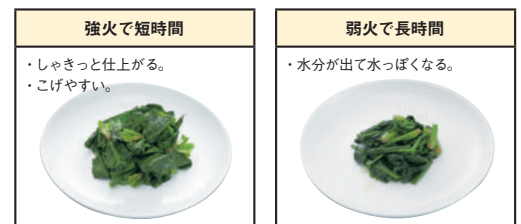
卵のゆで時間と固まり具合



米の浸水による変化



いため方による仕上がりのちがいがい



衣生活 しみ抜きなど生活にいかすことができる体験や、顕微鏡写真などの観察を通して、学習の理解を深めます。

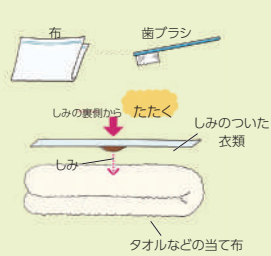
やってみよう しみ抜き **QR**

「しみ抜き」は、衣服の一部に汚れが付着したときに衣服全体を洗わずに汚れを落とす方法として、よく使われます。

①しみ抜きを体験してみましょう。

しみのついた布をたたんだタオルの上に汚れを下にして置き、水などの液体をつけた歯ブラシや布でたたく

②汚れの種類や洗浄液の種類などによってしみの落ち具合がちがいます。比較してみましょう。



<歯ブラシにつける液体>①水、②洗剤水溶液、③漂白剤水溶液
<汚れの種類>①しょうゆ、②カレー、③ラー油、④アクリル絵の具
<しみ付着後の経過日数>①ついですぐ、②1週間放置後

しみの種類と落とし方

水性のしみ (しょうゆ)	基本的に水で落ちる。
油性が混じったしみ (ボールペン、えりあかなど)	水だけでは落ちないので、洗剤を使って落とす。
色素が混じったしみ (カレー、ジュースなど)	色素が残しやすいので、洗剤と漂白剤を使って落とす。
顔料・墨汁	ごはん粒と洗剤を混ぜてすり込み、へらなどでしごき出し、流水で洗い流す。

(← p.175)

(→ p.176)

	顕微鏡写真	実物写真
天然繊維	綿 (コットン)	綿花 (コットンボール)
	麻	苧麻
	毛 (ウール)	羊の毛刈り
	絹 (シルク)	まゆ
化学繊維	ポリエステル	原料液を押し出し固まらせる
	アクリル	わた状の短い繊維 ※ポリエステルもアクリルも石油を原料とする

衣服についた汚れ (p.174)



一日着用したシャツ全体に、ニンヒドリン (汗などに含まれるたんぱく質に反応し、赤紫に発色する) をかけたもの。

フェルト化の原因 (p.177)

羊毛繊維の顕微鏡写真



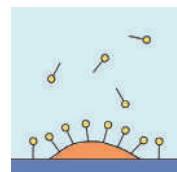
空気中 水中

水中ではキューティクルが開いて立ち上がり、水温が高かったり、強くもみ洗いたりすると、キューティクル同士がひっかかり、繊維が絡みあいます。その結果、布が収縮しフェルトのようになり、元の状態に戻らなくなります。これをフェルト化するといえます。

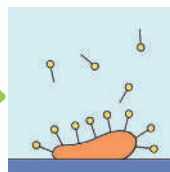
洗剤 (界面活性剤) のはたらき (p.181)

界面活性剤の分子

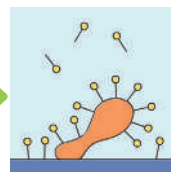
油となじみやすい部分
水となじみやすい部分



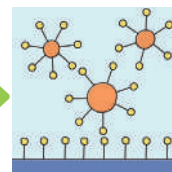
a 界面活性剤 (洗剤の主成分) が、油汚れや繊維の表面に集まる。



b 界面活性剤が汚れを包み込み、油汚れが繊維から離れやすくなる。



c 洗濯機や水流の力で、油汚れが繊維から引き離される。



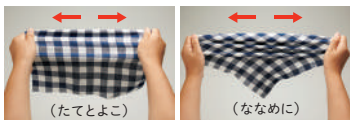
d 汚れが水中に分散し、界面活性剤に包まれて、繊維に再付着しない。



衣生活 布の特徴や汚れによる布の吸水性など、実験・観察を通して、学習の理解を深め、中学校につながります。

布にはどのような特徴があるだろうか。

引っ張ってみよう **QR** → 66ページ



切ってみよう



紙と比べてみよう。

実験 布の重なりと保温性を比べてみよう。 **QR**



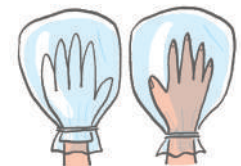
同じ温度の湯を入れて、布を1回巻いたペットボトルと5回巻いたペットボトルの温度の下がり方を比べる。

実験1 布による空気を通しやすさを比べてみよう。 **QR**



つつなどの先に布をかぶせて、息をふきかける。

実験2 湿気の吸いやすさを比べてみよう。 **QR**



片方だけに薄地の手ぶくろをはめて両手にビニルぶくろをかぶせる。手首を閉じて5分間くらいおく。左右の手の感じがどのようにちがうのか観察してみよう。

QR よごれによる水のしみこみやすさのちがい **QR**

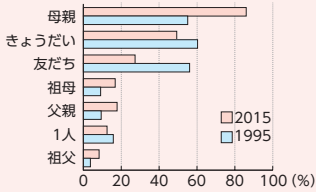


(p.38)

話し合ってみよう

1995年と2015年の子どもの遊び相手を比べてみましょう。どのような変化がありますか。それはなぜだと思いますか。

平日、幼稚園・保育所以外の幼児の遊び相手 (複数回答)



(ベネッセ教育総合研究所「第5回幼児の生活アンケート」2016年)

(他に, p.81, 178 など)

(p.72)

考えてみよう

宇宙ステーションという限られた空間の中の食事の風景です。このよさはどんなところにあるか、考えてみましょう。



国際宇宙ステーションで食事を楽しむ野口聡一さん、山崎直子さんたち

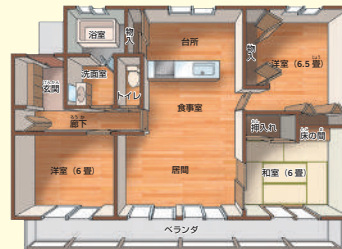
(他に, p.35, 162 など)

(p.164)

(p.213)

生活にいかそう

中学生のAさんは、父、母、妹(5歳)と住んでいます。QR
① Aさんの家族には次のような希望があります。希望を調整して部屋の使い方を考えてみましょう。



②一人暮らしをしていたAさんの祖母が足を骨折して、一時的にAさんの家に住むことになりました。これまでの部屋の使い方をどのように変えたらよいでしょうか。

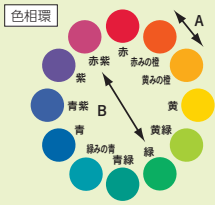
(他に, p.25, 77 など)

(p.258)

やってみよう カラーコーディネート

色と色の関係(色相環)を調べ、自分に似合う色を考えてみましょう。

A: 類似した色どうしのイメージは? B: 対照的な配色のイメージは?



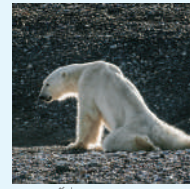
(他に, p.23, 109 など)

発表しよう

わたしたちの消費行動は地球環境のどのような問題につながっているのでしょうか? 写真やニュースなどをもとに話し合って発表してみましょう。



洪水で浸水した街



餓死寸前の北極熊

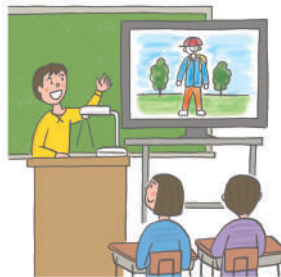
(他に, p.50, 219 など)

野外活動に合う着方を考えてみよう



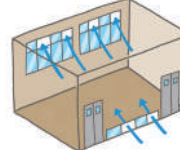
発表しよう

友だちの工夫からも学び、さらに自分の考えを深めよう。



調べよう QR

教室の窓を図のように開けると最も効果的に換気できるが、その理由は何だろう。



96ページ「考えよう」
関連 理科4年「空気と温度」

考えよう

いままで買い物で「失敗したなあ」と思ったことはないだろうか。なぜそう思うのか、また、そうならないためにはどうしたらよいだろうか。



■中学校技術・家庭「家庭分野」における「小学校での学び」の確認例

中学校技術・家庭「家庭分野」

✿ 小学校での学び

新教科書では、「小学校での学び」として、小・中の接続がスムーズにいくよう、教科書を見ながら小学校での既習内容を確認しやすくしました。

(p.18)

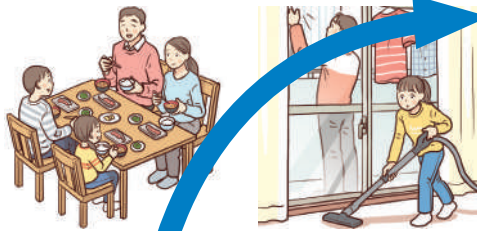
1. 自分の成長と家族・家庭生活

2 わたしの生活と家族・家庭

学習の目標

- 家庭での活動を考え、家族・家庭の基本的な機能について理解する。

家庭の中で行われていることはどのようなことでしょうか。



✿ 小学校での学び

家庭には、掃除、洗濯、調理などの、いろいろな仕事があることを学びました。家族の生活時間や家庭の仕事についても学びました。

✿ 小学校での学び

家庭には、掃除、洗濯、調理などの、いろいろな仕事があることを学びました。家族の生活時間や家庭の仕事についても学びました。

*家庭

家族の生活の場、一人暮らしでも自分のための私的な生活の場です。英語ではhome（ホーム）と呼び、本拠地、わが家という意味もあります。

■ 家族・家庭の機能

家庭*では食事、入浴、睡眠・休息をとったり、子どもを育てる、家族を看護・介護したりする活動も行われています（1図）。

これらの活動により、家庭の機能は支えられています。わたしたちは日々、活動する力を蓄え、心の安らぎを得ています。また、衣食住の生活を通して若い世代に生活文化を伝える、地域の人と交流し地域の活動を支える、といった機能（はたらき）もあります。

小学校での学びが、中学校での学びにつながります。既習内容を振り返りながら、理解を深めていきます。

「家族の生活時間」

1 生活時間をマネジメント

自分の生活時間を管理し、家族の生活時間を管理する。

どのように時間を使っているだろう

時間を使い方に課題はないだろうか

「家庭の仕事」

5 できるよ、家庭の仕事

学習の観点

家庭の仕事の手順・方法

自分のできる仕事を見つけよう

工夫して仕事をしよう

(p.72)

小学校での学び

毎日の食事には、体をつくり、成長させ、活動するためのエネルギーとなったり、体の調子を整えたりするはたらきがあることを学びました。

■ 食事のさまざまな役割

わたしたちは、生きるうえで必要な五大栄養素（⇒p.82）や水分を食事からとっています。毎日食事をとることで、**生命や健康を維持し、成長や活動**をすることができます。また、決まった

(p.162)

小学校での学び

衣服には、暑さ、寒さを調整したり、汗や汚れを吸い取ったりするなどの保健衛生上のはたらきと、運動や作業などの活動をしやすくするなどの生活活動上のはたらきがあることを学びました。

■ 衣服を着る目的

衣服は、小学校で学んだように、暑さ、寒さを防いだり、活動しやすくするために着ています。衣服には**保健衛生上のはたらきと生活活動上のはたらき**に加えて、**社会生活上のはたらき**があります。社会生活上のはたらきは、**社会生活を円滑に**過ごすうえで大切な

(p.208)

小学校での学び

雨や風、夏の暑さや冬の寒さなどから身を守る役割や、季節の変化に合わせて日光や風など自然をいかした住まい方を学びました。

■ 住まいのはたらきと家族・家庭

住まいは暑さや寒さ、日射、風雪雨などの家の外の**厳しい環境**条件からわたしたちを守ります（1図）。また、住まいは、安心・安全な家庭生活を支えています。たとえば、わたしたちがここに

(p.230)

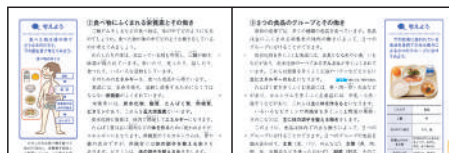
小学校での学び

買い物のしくみや消費者の役割、物や金銭の計画的な使い方について学びました。

■ 物資とサービス

生活にはさまざまなものがが必要です。現在そのうちのほとんどものは**商品**として販売されています。それらは**物資とサービス**

「栄養素のはたらき」



「衣服のはたらき」

「住まいのはたらき」



「買い物のしくみ」

